

空輸中映像のオープンデータ化 - CC-BY な空中写真を皆さんに-

スカイマップ(株) 三田友規 E-mail : skm@skymap.co.jp Twitter : @tmnr0202



キーワード

オープンデータ、空中写真、航空機、空中版ストリートビュー、Mapillary

スカイマップ社では、航空撮影業務をしていますが、その空輸中の映像を、地理空間情報としてオープンデータ化していくことを始めています

オープンデータとは単なる公開ではありません

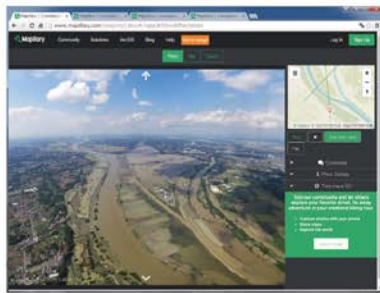
~~オープン=公開~~

オープン=開放

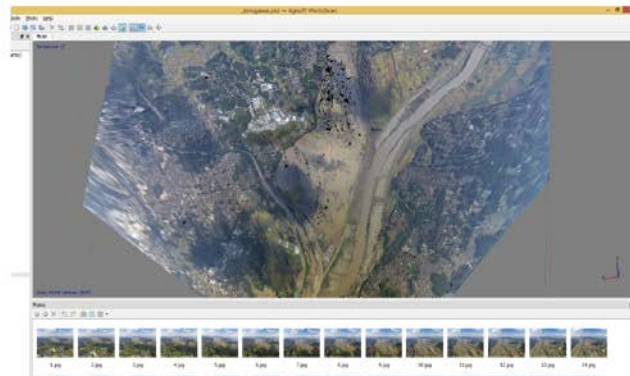
オープンデータとは、自由に使えて再利用もでき、かつ誰でも再配布できるようなデータのこと



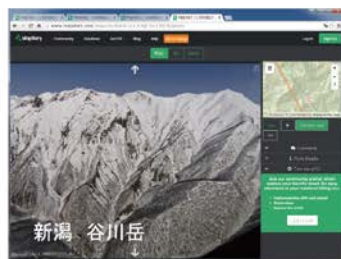
2015年9月には空輸で通過した鬼怒川増水後の映像を公開しましたが、世界のマッパーの方がオルソ化してくれ、浸水域の把握、災害復旧に役立てて頂きました



オープンデータとして公開した鬼怒川空撮データ(↑)
マッパーの方のオルソモザイクしてくれた画面(→)



抜粋事例



航空機からの映像をオープンデータ化していく事例は、前例がなく、大変新規性があります。

応用例としては、鬼怒川の事例のように災害時の復旧災害はもちろん、国土の平常時の姿を随時、Geoなオープンデータとして蓄積していくということで、防災面に役立てることができると思います。例えば火山が噴火した時に、噴火前の映像があれば、比較ができます。その他の応用としては、航空写真の処理を含む講習での教材としての使用が考えられます。ぜひ、ご活用ください。